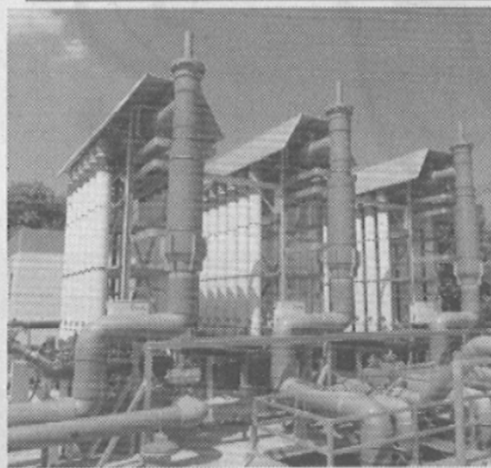


飲料用濾過膜採用



ゼオライトの排水再利用システムにオランダ・ペンティア製「X-1」フロウUF膜を用いたプラントで「ゼオレックス-X」として展開する。UF膜は飲料水浄化などに
.....
大手製パン工場が導入。稼働を始めたUF膜排水処理プラント

【福岡】ゼオライト（福岡市博多区、河村勝美社長、092・441・0793）は、限外濾過（UF）膜を用いた排水処理プラント事業を立ち上げる。限られたスペースで排水処理能力を拡大できることから、既存プラントのカスタマイズ工事を中心に展開する。8月までに福岡県内で2件の設置を完了。食品工場や自治体向けに初年度10台の設置を目指す。

排水処理設備を拡販

ゼオライト、中水活用提案

用いられるが、これを国内で初めて排水処理プラントに導入した。価格は

既存プラントのカスタマイズ工事が数千万円から。新規設置は約4億円。

ゼオレックス-Xは陸上に設置する。UF膜利用でコンパクトな設計となり、活性汚泥処理装置や大型沈殿槽が不要となる。排水1t中の生物化学的酸素要求量（BOD）は10ミリ以下まで落

とす。濁度は1度以下。中水として再利用できる。福岡県内の大手製パン工場と福岡市内の大手ホテルで、8月までに稼働した。

ペンティアのUF膜は世界市場では約30%のシェアを持つ。中東や東南アジアでは下水再利用の水処理施設などに使われている。